

2021年12月23日

ライフセーバー 各位

公益財団法人日本ライフセービング協会
救助救命本部
サーフトレーニング委員会
ライフセービングスポーツ本部
スポーツ育成委員会
ロングディスタンス競技分科会

海岸・河川でパドルトレーニングを行うライフセーバーの皆様へ

先般、複数人で海域を横断するロングパドルトレーニング中に、気象の変化及び体調不良により自力で戻る事が困難となり、公的救助機関に救助要請を行い、1名が救急搬送される事案が発生しました。

このような事案は過去にも発生しており、当協会としては都度注意喚起しているところですが、下記の事故防止対策等を参考に、トレーニング中の事故防止に努めていただきますよう、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

記

1. ロングパドルトレーニングを行う際の確認事項

(1) 出発前の確認

- ア 気象・海象（海岸沿いは入りくんだ地形などの影響で局所的に条件が変わります。十分注意してください。）
- イ 参加者の体力・技術
- ウ 家族・クラブ関係者等への事前連絡
- エ 緊急発生時（気象・海象の変化、体調不良等）対応等

(2) 携行品の確認

- ア ライフジャケット、リーシュコード
- イ 携帯電話、GPS 機能付きの時計
- ウ 視認性の高いラッシュ、ビブス等
- エ 糖分、塩分、カロリーの摂取できるドリンクや栄養補助食品等
- オ 警笛
- カ 季節に応じた防寒対策

2. サーフトレーニングクリニックの開催について

人の生命を守るために、ライフセーバーとしてのスキルアップを図ることは、リスクを伴うトレーニングが必要となる場合もあります。今回発生した事案は、能力の高いベテランライフセーバーでも当事者となる可能性があり、改めてリスク管理を再検討する機会となりました。

当委員会では、ロングパドルを含めたサーフトレーニングスキルアップ（実技）や海の知識向上や海での危険回避能力向上を図る講義を定期的の実施しています。地域やクラブ単位での開催も募集していますので、実施を希望される場合にはご検討いただき、事務局へご相談ください。

3. サーフトレーニングクリニックの参加費について

クラブ種別条件なし、学生無料、社会人 1,000 円

問合せ先：公益財団法人日本ライフセービング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル1F（担当 中山）

TEL：03-3459-1445（平日 12 時～18 時）／ FAX：03-3459-1446

E-mail：info@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

